

野生動物へのエサやりはやめましょう

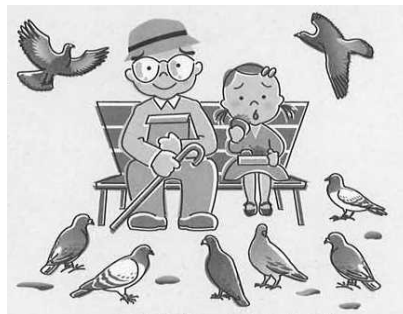
トビ・カラス・スズメ など

野生動物へのエサやりで様々な問題がおきています

●人がエサをあげると…

- 人の与える食物に依存して、自分でエサをさがせなくなる。
- 個体数が増え過ぎ、自然界のバランスを乱し、生態系に影響を及ぼすことがある。
- 人を恐れなくなり、人に接近するようになる。
- エサ場にトビやカラスが集まり、付近にある洗濯物や車を糞で汚したり、ゴミをあさったりする。

- 善意によるエサやりが、野生動物の生態と人の生活環境に被害をもたらしてしまうことがあります。
- 野生動物は、自然の中で、その動物が本来のエサとしている自然の物を食べて生活しています。
- 収穫せずに放置された作物や果実も、野生動物にとってはエサとなります。早めに収穫するようにしましょう。
- 野生動物にはエサを与えず、自然のまま見守ってください。



担当は、横須賀市建設部自然環境・河川課

電話：046-822-8528